

2021年度 日本線虫学会 第28回大会 (オンライン)

会期 2021年11月5日(金)～6日(土)

大会日程

11月5日(金)

総会	13:00～13:30
一般講演(口頭発表)	13:45～16:56

11月6日(土)

一般講演(口頭発表)	9:30～12:09
フラッシュトーク	13:10～13:45
一般講演(ポスター発表)	14:00～16:00
若手研究者賞授与式	16:30～16:45

大会プログラム

11月5日(金)

総会 13:00-13:30

一般講演(口頭発表)(メインルーム)

- 001 13:45-14:00 ○与謝野 舜¹・酒井啓充¹・岡田浩明¹ (¹農研機構) テンサイシストセンチュウ接種試験に用いる接種原調製方法の検討
- 002 14:01-14:16 ○近藤陸斗¹・大和田恭子¹・青井 透¹ (¹群馬高専) エダマメ圃場へのバイオマス活用型機能性改良資材によるダイズシストセンチュウ防除効果
- 003 14:17-14:32 ○鳴尾一穂¹・岩堀英晶¹ (¹龍谷大) 滋賀県で発見された日本未確認ネコブセンチュウ
- 004 14:33-14:48 ○喜多村 隆¹・新屋良治¹ (¹明治大) 日本産 *Meloidogyne hapla* の生殖様式の解明

休憩 14:49-15:04

- O05 15:05-15:20 ○久保颯太¹・松下水絵¹・宮武宏治²・齊藤猛雄²・岩堀英晶¹ (¹龍谷大・²農研機構) 線虫抵抗性ナス系統と栽培ナス品種「中生真黒」の交配 F₂ 集団に対するサツマイモネコブセンチュウの寄生性
- O06 15:21-15:36 ○高木素紀¹・瀧澤利恵²・札 周平¹・小河原孝司³ (¹元茨城農総セ園研・²茨城県結城普及セ・³茨城農総セ園研) 播種機を用いたマリーゴールド省力直播技術の検討
- O07 15:37-15:52 ○立石 靖¹ (¹農研機構) 造形樹等の主要な生産地におけるユミハリセンチュウの発生状況

休憩 15:53-16:08

- O08 16:09-16:24 ○鈴木れいら¹・檜垣 匠¹・相田光宏¹・久保 稔²・澤 進一郎¹ (¹熊本大・²奈良先端大) 植物感染性線虫の根こぶ形成における *PUCHI* 遺伝子の機能解析
- O09 16:25-16:40 ○佐藤一輝¹・植原健人²・Pamela Gan¹・榎 紀子¹・鈴木孝征³・門田康弘¹・白須 賢^{1,4} (¹理研・²農研機構・³中部大・⁴東京大) 新規モデル感染システムを用いた線虫抵抗性・感受性応答のトランスクリプトーム解析
- O10 16:41-16:56 ○Allen Yi-Lun Tsai¹・岩本祐佳¹・円谷陽一²・大田守浩¹・小西照子³・伊藤晋作⁴・小竹敬久²・石川隼人⁵・澤 進一郎¹ (¹熊本大・²埼玉大・³琉球大・⁴東農大・⁵千葉大) 種皮ムシレージ多糖類ラムノガラクトソロン-I の L-ガラクトース側鎖がネコブセンチュウの走化性行動を制御する

11月6日(土)

一般講演(口頭発表)(メインルーム)

- O11 9:30-9:45 ○北上雄大¹・松田陽介¹ (¹三重大) 外生菌根菌 4 種が真菌食性線虫 *Aphelenchoides* sp. の個体数と餌選択性に及ぼす影響
- O12 9:46-10:01 ○桐野巴瑠¹・前原紀敏²・新屋良治¹ (¹明治大・²森林総研) オキナワザイセンチュウにおける dauer 誘導条件の探索
- O13 10:02-10:17 ○浴野泰甫¹・新屋良治¹ (¹明治大) 植物寄生性線虫種間におけるアンフィドニューロンの共通性
- O14 10:18-10:33 ○水越雅人¹・長江星八¹・長谷川浩一¹ (¹中部大) ヌマガエルの変態に伴い寄生する線虫種が変わる

休憩 10:34-10:49

- O15 10:50-11:05 ○前川結佳¹・岩堀英晶¹ (¹ 龍谷大) アニサキス属線虫の種および形態とこれらの宿主および産地との関係性
- O16 11:06-11:21 ○永谷大樹¹・長江星八¹・長谷川浩一¹ (¹ 中部大) コガネムシ上科に寄生する Oxyuridomorpha 寄生性線虫
- O17 11:22-11:37 ○藤森友太¹・新屋良治¹ (¹ 明治大) フトマルヤスデに共寄生する3種の線虫とその生活史
- O18 11:38-11:53 ○長江星八¹・Jans Morffe^{1,2}・田辺 力³・長谷川浩一¹ (¹ 中部大・² Inst. Ecol. Sistem・³ 熊本大) ヤスデを宿主とする線虫 Rhigonematoidea と Thelastomatoidea の分子系統と宿主範囲
- O19 11:54-12:09 ○山下達矢¹・浴野泰甫¹・神崎菜摘²・新屋良治¹ (¹ 明治大・² 森林総研) 胎生線虫 *Tokorhabditis tufae* は子に栄養を供給している？

昼食 12:09-13:10

若手研究者賞 (ポスター発表部門) エントリー者 フラッシュトーク (メインルーム)

13:10~13:45 12 演題 (P08, P09, P10, P12, P13, P14, P15, P16, P17, P18, P19)

一般講演 (ポスター発表) (ブレイクアウトルーム)

14:00-15:00 奇数番号コアタイム

15:00-16:00 偶数番号コアタイム

- P01 ○岡田浩明¹・北林 聡²・小松和彦² (¹ 農研機構・² 長野県野菜花き試験場) 非宿主植物によるテンサイシストセンチュウ密度の低減効果
- P02 ○浅水恵理香¹・岩堀英晶¹・北林 聡² (¹ 龍谷大・² 長野県野菜花き試験場) 土壌サンプルからのテンサイシストセンチュウ DNA 検出と定量
- P03 ○林 裕樹¹・坪内春太¹・相内大吾¹・小池正徳¹・富田祐太郎²・浅野眞一郎³ (¹ 帯広畜産大・² カネコ種苗・³ 北海道大) ダイズシストセンチュウの2期幼虫に対する *Bacillus thuringiensis* 芽胞の効果

- P 04 ○佐伯靖将¹・細井昂人¹・内山博充²・佐々木康幸¹・矢嶋俊介¹・伊藤晋作¹ (¹ 東農大バイオ・² 東農大ゲノムセンター) ダイズシストセンチュウの宿主認識に關与する遺伝子の探索と機能解析
- P 05 ○大津美奈^{1,2}・佐藤良勝^{3,4}・栗原大輔³・丸山大輔⁵・東山哲也^{3,6} (¹ 奈良先端大・² JST さきがけ・³ 名古屋大・⁴ ITbM・⁵ 横浜市立大・⁶ 東京大) 深部イメージングによるシストセンチュウが誘導するシンシチウム形成過程の時空間的解析
- P 06 ○谷口 芽¹・伊藤陽奈子¹・吉賀豊司¹ (¹ 佐賀大) PF-127 ゲル中における植物寄生性線虫の植物体への凝集行動
- P 07 ○怡土美咲¹・吉賀豊司¹ (¹ 佐賀大) 植物感染後のネコブセンチュウと巨大細胞の成長を制御する物質の探索のためのアッセイ系の確立
- P 08 ○潤居咲希¹・岩堀英晶¹ (¹ 龍谷大) 4 種ウリ類に対する 3 種ネコブセンチュウの寄生性
- P 09 ○日高旭峻¹・新屋良治¹ (¹ 明治大) ニセフクロセンチュウの無摂食下における長期生存メカニズム
- P 10 ○蔵下はづき^{1,2}・牧 慎也²・佐藤 剛²・高木素紀³・後藤万紀³・假屋哲朗³・幡本将史²・山口隆司²・富田 駿¹・成廣 隆¹・黒田恭平¹ (¹ 産総研・² 長岡技大・³ 茨城県農業総合センター) レンコン黒皮線虫病の黒斑点発生機構解明に向けた化学・微生物学的解析
- P 11 ○江口祐一¹・吉賀豊司¹ (¹ 佐賀大) ベンレート T 水和剤がイモグサセンチュウに与える影響
- P 12 ○谷岡一真¹・澤田悠生¹・妹尾柚郁¹・根津祐作¹・吉村大輔¹・浅水恵理香¹ (¹ 龍谷大) 緑肥施用圃場において植物寄生性線虫と関連する土壌パラメータの探索
- P 13 ○高村美月¹・桐野巴瑠¹・秋庭満輝²・菊地泰生³・新屋良治¹ (¹ 明治大・² 森林総研・³ 宮崎大) マツノザイセンチュウの増殖力と性比の多様性
- P 14 ○土井健太郎¹・新屋良治¹ (¹ 明治大) マツノザイセンチュウの交尾行動パターンの解明
- P 15 ○立石迪照¹・小林大介²・伊澤晴彦²・新屋良治¹ (¹ 明治大・² 感染研) *Bursaphelenchus conicaudatus* に感染しているウイルスの発見及び感染経路
- P 16 ○永戸康聖¹・侯 哲¹・長谷川浩一¹ (¹ 中部大) ω3 不飽和脂肪酸によって線虫 *C. elegans* の寿命が延びる
- P 17 ○戸川侑樹¹・佐川茉莉花¹・Matthew R Gronquist²・Paul W Sternberg³・新屋良治¹ (¹ 明治大・² SUNY Fredonia・³ Caltech) *C. elegans* のオスは揮発性の性フェロモンをどのように受容しているのか？
- P 18 ○玉木芳明¹・新屋良治¹ (¹ 明治大) *Pelodera strongyloides* における交尾栓の役割

P19 ○市石 宙¹・新屋良治¹ (¹ 明治大) 線虫に感染する微孢子虫の探索とその特性解明

P20 ○浅川満彦¹ (¹ 酪農大) 野生動物医学に誘った寄生線虫 (回顧から)

※ 講演番号は、若手研究者賞 (口頭発表部門・ポスター発表部門) のエントリーを示す

若手研究者賞授与式

16:30-16:45 口頭発表部門・ポスター発表部門